

地域おこし協力隊コラム
もり探
 盛岡をディープに探る

第12回



市の地域おこし協力隊員が、自身の活動状況や地域で発見した盛岡の魅力などについて語る本コラム。今回の担当は、齊藤裕子隊員です。
 ☎ 都市戦略室 ☎613-8370

ペットと一緒に楽しんで暮らせるまち

「移住・定住・交流人口対策の推進」をテーマに、盛岡の魅力を全国に広める活動をしています。盛岡市出身で、高校卒業後に上京してから20年以上東京で暮らしていました。周囲に盛岡を知らない人が多く、盛岡の良いところをもっと多くの人に知ってほしいと思っていたところ、地域おこし協力隊の存在を知って応募しました。
 今は首都圏などで開催される移住相談のイベントで、盛岡への移住を希望する人の相談を受け、アドバイスしています。相談に来る人の年代は20代から60代と幅広く、相談内容も求人情報や住宅、交通事情、福祉、冬の暮らし方などさまざまです。いざ移住を決断するまでは不安なことも多いので、それらを少しでも解消できるように、一人一人の希望に合わせた丁寧な対応を心掛けています。相談者とは、相談会後もメールでのやり取りをするなどアフターフォローを大切にしています。いざなり移住に踏み切れない人には、まずは週末だけ盛岡で過ごしてみることもひとつの選択肢として、実際の体験談を交えておすすめています。その甲斐あってか、首都圏と盛岡の2拠点で暮らす人も出てきていますね。新幹線の停車駅であり、アクセスが良

い盛岡だからできることだと考えています。盛岡の魅力は身近にある自然や、住んでいる人たちの優しさなどたくさんありますが、私が特にアピールしているのが「ペットと楽しく暮らせるまち」ということです。盛岡は動物愛護への取り組みが盛んで、全国的に見ても動物への関心が高いまちです。犬を連れて散歩をしていると地域の人々が自然に話しかけてくれることがよくあります。東京ではなかなかない体験なんです。ペットを飼う人が多く、動物と一緒に住むことを重視して移住を考える人も最近では増えています。より多くの人に選んでもらえるよう、市内のペットとお出かけできる場所を紹介したり、イベントを開催するなど、ペットと暮らしやすい盛岡の魅力を広めていきます！



齊藤隊員の活動の様子。移住相談を受けるほか、わんこ兄弟のかぶり物で盛岡をPRすることも

ごみの減量と再利用について、役立つ情報をお知らせ！【問】資源循環推進課 ☎626-3733

3Rマイスターへの道

今月のテーマ

ごみの出し方 今一度、確認してください！

VOL.14

危険な出し方をしていますか？

集積場所に資源として出されたプラスチック製容器包装やペットボトル、紙製容器包装などの中に、注射針や刃物、乾電池などの対象外のものが混入していることがあります。資源の選別は、作業員が手作業で行っています。安全な作業と資源の活用のために、正しく分別しましょう。
 注射針などの医療ごみの処分については、医療機関へご相談ください。



▶ ペットボトルに入れて捨てられた注射器

▲ 資源に混入していた乾電池やライターなど

正しく分別をしないと作業員がけがをしたり、資源として活用できなくなってしまうよ



小型家電は回収ボックスへ！

小型家電は資源として活用できます！市の施設やスーパーなどの小型家電回収ボックスへお持ちください。回収した小型家電からは貴重な金属（レアメタル）を取り出し、身の回りで役立てられています。



小型家電回収ボックス ※形状は地域によって異なります

対象品目

回収ボックスの入口（15センチ×25センチ）を通る大きさの、家庭から排出される家電

- ・携帯電話
- ・電話機
- ・ポータブルラジオ
- ・デジタルカメラ
- ・家庭用ゲーム機
- ・音楽プレーヤー
- ・リモコン
- ・電器コード類

など

この他にも対象になるものがあります。対象品目や回収場所について詳しくは、市公式ホームページをご覧ください



もりおかエコライフ2019を開催します

「衣・食・住」からエコなライフスタイルを考えるイベントです。楽しいステージイベントや工作体験コーナーなど、子どもから大人まで楽しめる催しがたくさん！スタンプラリー参加者には素敵なプレゼントもあります。
 ・古着のファッションショー「もりおかフルコレ」
 ・調理師専門学校生による「エコなクッキング」
 ・エコな企業や団体の展示をめぐるスタンプラリー
 ☎ 11月9日(土)・10日(日)、10時～17時
 ☎ イオンモール盛岡(前潟四)イーハートブ広場など

ID 1028939

昨年行われたイベントの様子



盛岡市消費生活センター
 CONSUMER AFFAIRS CENTER OF MORIOKA CITY
えぷろん
 消費生活情報

消費生活センター ☎624-4111

■キャッシュレス決済を上手に活用しよう！

現金を持ち歩かなくても会計ができる、便利なキャッシュレス決済。消費税増税に伴うポイント還元サービスが目立っていますが、メリットがある反面、注意点もあります。キャッシュレス決済についてよく理解して、上手に活用しましょう。

○キャッシュレス決済とは？

カードやスマートフォンを専用の端末で読み取らせて支払う決済手段のことです。

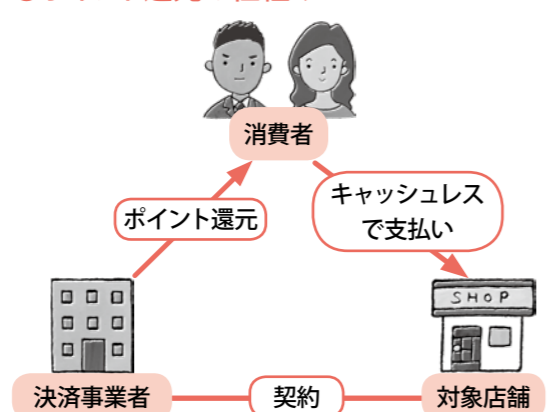
支払い方法

- ・前払い方式…交通系ICカードなど、あらかじめ入金(チャージ)した額から決済する
- ・即時払い方式…デビットカードなど、会計のたびに口座から代金を引き落とす
- ・後払い方式…クレジットカードなど、一定期間の支払いを後日まとめて引き落とす

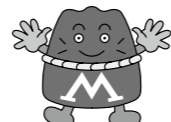
○キャッシュレス決済のメリット

- ・釣銭のやりとりがないので、会計に時間がかからず簡単にできる
- ・スマートフォンで家計簿をつけるアプリを連携させれば、お金の動きを簡単に把握できる
- ・来年6月30日(火)まで、対象店舗での決済金額から、最大で5倍のポイントがつく(ポイント還元)。事業者によっては、独自でさらにポイントがつく場合も！

○ポイント還元の仕組み



キャッシュレス決済で不安なことがあれば、消費生活センターへお問い合わせください。



悪質商法撃退キャラクター がんがん君

注意点

- ・災害時や、端末が故障すると利用できない
 - ・お金を使った意識が薄く、使いすぎてしまうリスクがある
 - ・カードやスマホを紛失したり、盗難されて悪用されるリスクも
 - ・IDやパスワードなど、個人情報の取り扱いには十分注意する
- ※キャッシュレス決済の申し込みやポイント還元のために口座番号や暗証番号を電話で聞き取ることは決してありません。怪しい電話はいったん受話器を置いて、すぐに消費生活センターへ連絡してください

盛岡の美術コレクション vol.2

多くの芸術家が住み、数多くの美術作品が生み出されてきたまち、盛岡。ゆかりの芸術家とともに、市所蔵の美術コレクションを紹介いたします。 ☎ 文化国際室 ☎626-7524



※この作品は、12月20日(金)まで盛岡市民文化ホール(盛岡駅西通二)1階に展示しています

雪景色(油彩、制作年不詳)

佐々木一郎は盛岡の街角や岩手の山々を題材とした風景画を数多く描きました。現場主義で、冬山にも自力で登って描くスタイルでした。
 17歳で生涯を終えた息子の鎮魂のため、特に冬山を多く題材に選びました。この作品には岩手の自然の雄大さと、それに対峙し続けた実直な人柄が表現されています。

佐々木一郎 (1914年～2009年)

佐々木一郎は大正3年に神子田町に生まれました。岩手中、岩手師範学校(現・岩手大教育学部)を卒業した後は美術教師の道へ。昭和21年頃から画家の深沢省三、紅子と共に児童向けの「日曜図画教室」で指導にあたり、省三らがやめた後も同教室での指導を続けました。
 また岩手県の美術教育の礎であり、後の岩手大教育学部の特設美術科につながる「岩手美術研究所」の開設と運営にも携わります。長きに渡って岩手大の教授として教壇に立つなど、一郎は自らの創作活動のみならず、後進の育成にも力を注ぎ、市や県の美術振興に大いに貢献しました。

広告

盛岡りんごをあなたに
全国りんご発送承ります

盛岡特産品ブランド認証商品

商品一例(税・送料込み)
 蜜入りサンふじ
 ・5kg 3,900円
 ・10kg 7,000円
 サンふじ・黄色りんご
 ・5kg 4,000円

りんご工房まてせ 代表 北田晴男
TEL 019-696-3291

〒020-0402 岩手県盛岡市黒川113-14
 FAX 019-601-4050
 E-mail fkitada@white.plala.or.jp
 URL http://kitadafrogbee.wixsite.com/ringo

広告

一般財団法人 岩手済生会
こころのホスピタル

三田記念病院

家族教室のご案内
 認知症・統合失調症の患者様を支えるご家族や地域の方を対象に11月から3回、家族教室を開催します。参加は無料です。詳細はお電話かホームページで！

- 受付時間 / 8時30分～11時
- 診療時間 / 8時30分～17時15分
- 休診日 / 土曜・日曜・祝日
- 創立記念日 / 6月18日
- 年末年始 / 12月29日～1月3日

盛岡市加賀野三丁目14-1 三田記念病院 検索
 (一財)岩手済生会 盛岡市長町24-7 ☎019-622-7327